

製品名: BCL2L2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81920**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	20.7kDa

抗原情報

遺伝子名	BCL2L2
別名	BCLW; BCL-W; PPP1R51; BCL2-L-2
遺伝子 ID	599.0
SwissProt ID	Q92843
免疫原	大腸菌で発現したヒト BCL2L2 (AA: 6-118) の精製された組み換え断片。

背景

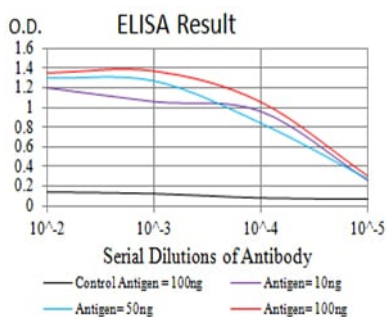
この遺伝子は BCL-2 タンパク質ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのタンパク質はヘテロ二量体またはホモ二量体を形成し、抗アポトーシスおよび促進アポトーシス制御因子として作用します。細胞におけるこの遺伝子の発現は、細胞毒性条件

下での細胞アポトーシスの減少に寄与することが示されている。マウスにおける関連遺伝子の研究では、NGF および BDNF 依存性ニューロンの生存における役割が示唆されました。マウス遺伝子の変異およびノックアウト研究では、成体精子形成において重要な役割が実証されました。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。また、この遺伝子と隣接する下流の PABPN1 (ポリ(A)結合タンパク質、核1) 遺伝子との間にも、リードスルー転写が存在します。

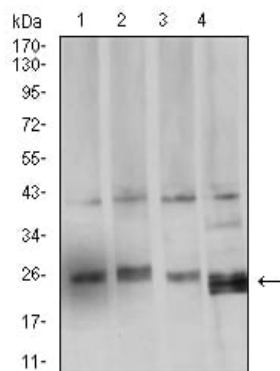
研究分野

-

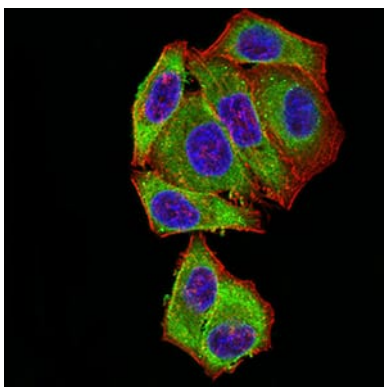
画像データ



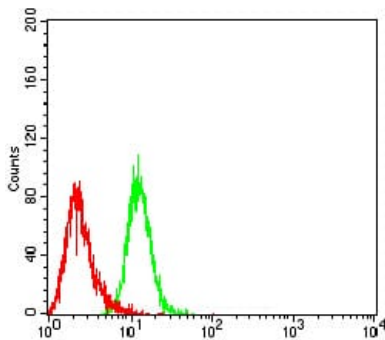
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



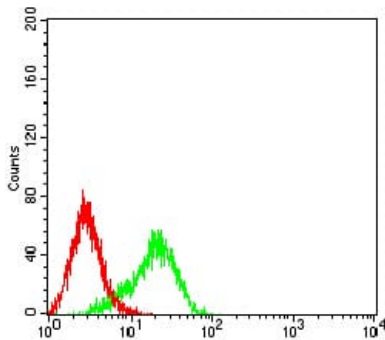
HCT116 (1)、LOVO (2)、SW480 (3)、HL-60 (4) 細胞溶解物に対する BCL2L2 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



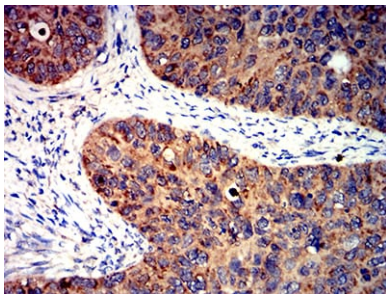
BCL2L2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



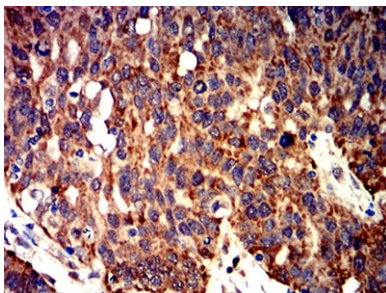
BCL2L2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



BCL2L2 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BCL2L2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BCL2L2 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。